

2025 年 10 月 24 日
日本積層造形株式会社

**Kプロ「高度な金属積層造形システム技術の開発・実証」専用の
研究開発棟が完成し、竣工式を開催しました**

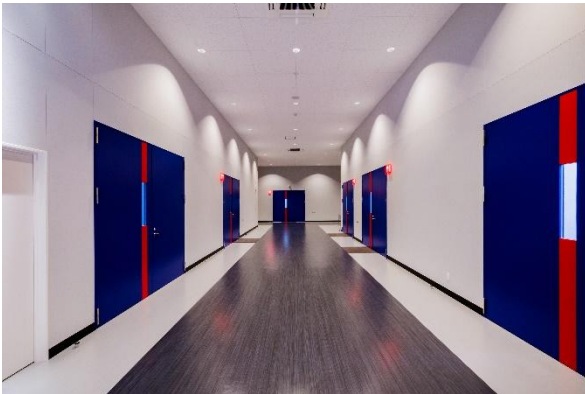


日本積層造形株式会社（本社：宮城県多賀城市、社長：大竹卓也）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「経済安全保障重要技術育成プログラム（K-Program）／高度な金属積層造形システム技術の開発・実証※」において採択された研究開発テーマ「全面統合型次世代金属積層造形技術の開発」を推進するために、多賀城市の本社敷地内に専用の研究開発の建屋（2号棟）を建設しました。2024年11月に工事に着手し、10か月を経て完成し、10月7日（火）、多賀城市長はじめ多くの関係者の皆様にご参列賜り、竣工式を開催いたしました。

竣工した2号棟では、「EB-PBF（電子ビーム粉末床熔融法）」を用いたマルチドットスキャン方式（単一ビームを高速で切替える疑似的な多点同時照射）による欠陥レスな高速・高精度造形技術の開発を行うと共に、粉末品質向上の為に均一な真球形状の粉末製造技術の開発を行う予定です。鉄骨造平屋建（建築面積1,043㎡／施工：日東工営株式会社）で、造形室は4室、他に検査室、加工室、粉末保管室を設置し、金属積層造形に係る一連のプロセスを実施可能にしています。



日本積層造形株式会社は、研究開発テーマのコンソーシアムメンバーである日本電子株式会社、株式会社先端力学シミュレーション研究所、国立大学法人東北大学と共に、新たに完成した2号棟を拠点に、電子ビーム装置による多方面にわたる社会実装の実現を通じた新たなものづくり基盤技術の確立を目指します。



2号棟通路(造形室などが並ぶ)



導入した日本電子株式会社製の EB-PBF 方式の金属 3D プリンター
「JAM-5200EBM」

※ 「経済安全保障重要技術育成プログラム (K-Program) / 高度な金属積層造形システム技術の開発・実証」について

経済安全保障の強化・推進を目的に、内閣府や経済産業省、その他の関係府省が連携し、先端的な重要技術の研究開発から技術実証までを迅速かつ柔軟に推進するべく創設されました。高度な金属積層造形システム技術の開発・実証は、K-Program の研究開発ビジョン (第二次) の中で、先端製造技術テーマの一つとして支援対象に選定されています。

弊社は、日本電子株式会社、株式会社先端力学シミュレーション研究所、国立大学法人東北大学と共に、研究開発テーマ「全面統合型次世代金属積層造形技術の開発」を提案し、採択を受けました。詳細は下記ウェブサイトをご覧ください。

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101845.html

日本積層造形株式会社 (英文社名 JAMPT CORPORATION) について

日本で初めて材料粉末の開発・製造から試作品造形・量産対応までの一貫サービスを提供するサービスビューロとして、2017 年 10 月に設立。総合商社の双日株式会社、鋳物試作・量産メーカーの株式会社コイワイが株主。東北大学・金属材料研究所及び東北大学・未来科学技術共同研究センターの学術的な裏付けと技術サポートを元に、金属積層造形のリーディングカンパニーを目指します。

- 本社所在地 〒985-0874 宮城県多賀城市八幡一本柳 3-8
- 代表者 大竹 卓也
- 設立 2017 年
- 資本金 99,000 千円
- URL <https://www.jampt.jp>

【リリースに関するお問い合わせ】

日本積層造形株式会社 営業部 TEL:022-290-0625